

## 第4回 健康なところとからだ・健全な地域社会を育む

問い合わせ いきいき健康課 ☎24・8161

第4回目は、健康づくりやコロナ禍での地域社会の在り方などについて意見を交わしました(9月1日開催)。

一日Mayorを務めた2人からいただいた未来への提言を市の施策に反映させ、より健全な地域社会を育てていきます。

(左から)第4回一日Mayorの西出一美さん、牧野美奈さん▶  
※写真撮影時のみマスクを外しています。



### Mayor'sメッセージ

#### 健康寿命を延ばす環境づくりを

核家族化が進む現在、予防やフレイルの段階で力を注ぐことが、健康寿命を延ばす一番の近道です。口の中の健康は免疫や認知症と深く関わっています。そこで、かかりつけの歯科医院に通う重要性に気付いてほしいのです。

市では、こまつ市民大学の講座や介護予防事業などで健康づくりに関する情報を発信していますが、ワクチンがない現在のコロナ禍では自己免疫を高めるための環境づくりが必要だと思います。私も現場経験者だからこそ伝えられる情報を提供し、協力していきたいです。

**西出一美**

(福)松寿園 認定歯科衛生士

#### 支援を充実し 人材育成を強化

“withコロナ・afterコロナ”に向けて、医療従事者の人材育成に力を入れていくことが大切だと考えます。医療体制が不十分だと、救えるはずの命が失われてしまうだけでなく、人々の不安にもつながります。心の不調はからだの不調にもつながります。

大学で医療を学ぶ学生もコロナで厳しい状況にあります。そんな学生に向けて、金銭面以外でも支援が充実することを期待します。小松で学ぶ学生が、小松で学べて良かった、小松で就職したいと思ってくれることが小松の未来につながると信じています。

**牧野美奈**

公立小松大学保健医療学部臨床工学科3年



# SDGs未来都市こまつ

## 一日Mayor

問い合わせ 広報秘書課 ☎24・8016

市では、持続可能なまちづくりを市民共創で進めるため、各分野のリーダーなどを「SDGs未来都市こまつ一日Mayor(市長)」に委嘱し、様々なテーマについて、市職員と意見交換を行っています。

## 第3回 木場潟の環境保全と未来

問い合わせ エコロジー推進課 ☎24・8067

第3回目は、木場潟の観光資源としての活用や水質改善に向けた取り組みなどについて意見を交わしました(6月30日開催)。

一日Mayorを務めた3人から木場潟の環境保全と未来に向けた提言をいただきました。これらの意見を市の施策に反映させ、より魅力ある木場潟を次世代につないでいきます。



▲(左から)第3回一日Mayorの藤田勝男さん、合場加代子さん、奥谷晃宏さん  
※写真撮影時のみマスクを外しています。

### Mayor'sメッセージ

#### 水質改善と文化の継承に重点を

水生植物の復活や下水道接続率の向上など、多岐にわたる取り組みと携わる皆さんの思いが水質改善につながっています。定期的な自然環境調査を実施しながら、今後とも泳げるほど美しい木場潟を目指して、活動を継続されることを願います。

また、木場潟に残る貴重な伝統文化を継承するため、かつて使われていた農具、漁具などの展示物の充実や、虫おくり、郷土民謡、獅子舞などの発表の機会創出、そして文化を受け継ぐ人材育成が重要だと思います。

**藤田勝男**

(公財)木場潟公園協会代表理事

#### 花いっぱいの空間づくりを

木場潟の良さを多くの皆さんに知ってもらうため、ユーチューブでの動画配信やホームページなどを積極的に活用すべきだと思います。

また、自然を生かしたハーブガーデンや体験ブースなど、子供たちと一緒に楽しめる空間があったら良いと思います。

今後も木場潟の花装飾や前川の河川敷に花を植える活動を通して、少しでも多くの市民が木場潟に興味を持ち、一緒に活動していただけることを願っています。

**合場加代子**

木場潟フローラの会代表

#### 観光資源としてブラッシュアップを

木場潟は小松の貴重な財産であり、観光資源でもあります。

イタリアにある「コモ湖」はミラノから1時間あまりのリゾート地で、ヨーロッパ中からバカンスを楽しむ人が訪れています。木場潟も金沢から1時間、近くには温泉もあります。高級リゾートホテルの誘致を最終目標に、道路整備や案内看板の設置、駐車場の増設など、将来を見据えて整備を進める必要があると思います。

「木場潟を日本のコモ湖に！」を目指して、観光資源として更なる磨き上げを期待します。

**奥谷晃宏**

小松マテール(株)技術開発本部長代理

## 小松のSDGs推進を応援する「SDGsこまつ未来大使」を任命

### 未来の自動車の研究開発や新産業創出に関する「NEXTこまつ・豊かな新産業創出構想」

小松市出身で電気自動車開発などに取り組む(株)タジマモーターコーポレーション(東京都)の会長兼社長である田嶋伸博さんを市のSDGs活動を後押しする「SDGsこまつ未来大使」に委嘱しました(9月9日)。

田嶋さんは、来年春までにEV(電気自動車)など次世代環境型自動車の研究開発拠点を立ち上げ、地元大学などと連携して人材を育成。2025年には組み立て生産拠点を市内に設ける計画をしています。



◀田嶋伸博さんは日本を代表するモータースポーツのドライバーでもあります。

▼(株)タジマモーターコーポレーションが開発する次世代環境型自動車



問い合わせ 商工労働課 ☎24・8074

国際&経営政策課 ☎24・8037